

日本化粧品学会

第40回 教育セミナー プログラム

ニキビ、赤ら顔に迫る ～脂腺を取り巻く最新科学～

ご挨拶

教育セミナーを担当する学術委員長を拝命して3年目になった東京通信病院皮膚科の江藤隆史でございます。1年目は、私の専門分野であるアトピー性皮膚炎の病態において重要な位置を占める「ドライスキン」をテーマにしておおいに勉強していただきました。2年目は、大きく方向を変えて「化粧品・医薬部外品の安全性とその評価」をテーマに弁護士で皮膚科医でもある田邊先生などもお招きし、興味深いセミナーとなり、たくさんの方にご来場いただきました。3年目の今年は、さらに多くの参加者になればと祈念して、委員会のメンバー全員で年初の会議の時に知恵を絞りあいました。副委員長の1人であり、虎の門病院皮膚科の林伸和先生の専門がニキビであること、私自身が酒さと呼ばれる「赤ら顔」に日常診療で苦戦している体験などから、その病態の中心の場である「脂腺」に着目し、最新のサイエンスのご紹介をさせていただこうということで全員の意見がまとまり、このようなタイトルに決定いたしました。

まずは、脂腺についての基礎編として、その道の大家であられる新潟大学の伊藤雅章先生と東京薬科大学の佐藤隆先生に講演をお願いいたしました。次に「ニキビ」「赤ら顔（酒さ）」の臨床を副委員長の林伸和先生と東北大学皮膚科の山崎研志先生に解説していただきます。特に「赤ら顔」は、化粧品が合わないなどのクレームが多い女性に多く、いわゆる「敏感肌」の素因の中心になるものではないかと思われるので、山崎先生にはやや長めの時間の講演をお願いしました。最後に「ニキビ」ケアの最新情報として岡山大学の富田秀太先生にマイクロバイオーームのお話をいただき、メンタルケアの重要性を女子医大の檜垣祐子先生に解説いただくことにいたしました。それぞれ興味深い内容のお話が展開されるはずです。多くの方々、特に若手研究者の皆様にご来場いただければと願っております。

学術委員長 江藤隆史

開催日：2015年10月16日（金）

会場：ヤクルトホール

*アクセスは最終ページの地図をご参照ください

〒105-8660 東京都港区東新橋 1-1-19 (TEL.03-3574-7255)

開場：9：30 開演：10：00

参加費：会員 15,000円（予約 13,000円）

非会員 20,000円（予約 18,000円）

学生 2,000円（当日のみ・要旨集代含・要学生証提示）

* ご所属が賛助会員の場合、個人会員と同じく15,000円（事前予約13,000円）でご参加頂けます。

* 参加費には要旨集代が含まれています。

日本香粧品学会 第40回教育セミナー プログラム

10:00~10:05	開会挨拶	委員長 江藤 隆史 (東京通信病院)
-------------	------	--------------------

10:05~10:55		座長 正木 仁 (東京工科大)
	1. 脂腺の構造と機能	
		伊藤 雅章 (新潟大学大学院 医歯学総合研究科 皮膚科学分野)

10:55~11:45		座長 吉田 雅紀 (クラシエ)
	2. 培養脂腺細胞における皮脂産生・分泌の分子機構	
		佐藤 隆 (東京薬科大学 薬学部 生化学教室)

11:45~12:35		座長 杉山 義宣 (花王)
	3. ニキビの発症メカニズムと最新の治療, スキンケア	
		林 伸和 (虎の門病院 皮膚科)

12:35~13:45	— 昼休み (参加費に弁当代は含まれません) —	
-------------	--------------------------	--

13:45~15:05		座長 堤 康央 (大阪大)
	4. 赤ら顔と自然免疫	
		山崎 研志 (東北大学大学院 医学系研究科 皮膚科学)

15:05~15:30	— 休憩 —	
-------------	--------	--

15:30~16:20		座長 翠川 辰行 (ライオン)
	5. マイクロバイオームとニキビ	
		富田 秀太 (岡山大学 歯薬学総合研究科)

16:20~17:10		座長 菅沼 薫 (エフシージー総研)
	6. ニキビと心身医学	
		檜垣 祐子 (東京女子医科大学付属 女性生涯健康センター)

17:10~17:15	閉会挨拶	副委員長 松本 克夫 (ポーラ)
-------------	------	------------------

POINTS OF INTEREST!

日本化粧品学会 第40回教育セミナー

脂腺の構造と機能

[伊藤 雅章先生]

脂腺は皮脂を産生する分泌腺で、毛嚢には必ず付随するが、独立脂腺もある。ニキビの主座は脂漏部位の脂腺性毛嚢である。脂腺小葉の周辺細胞が母細胞で、娘細胞が脂質滴を作り、全分泌により皮脂を放出する。脂腺細胞はⅠ型 5α 還元酵素を有し、皮脂産生能はアンドロゲンで増強し、男女とも年齢により変化する。脂腺小葉の発達もこれに並行するが、増大する脂腺と増大しない脂腺がある。脂腺増殖症は、腫瘍性増殖ではなく、成熟した巨大な脂腺である。

培養脂腺細胞における皮脂産生・分泌の分子機構

[佐藤 隆先生]

『皮脂』から何を連想しますか？多くの人は“肌のでかり”や“尋常性ざ瘡(にきび)”を連想し、皮脂を悪者と捉えています。しかし、皮脂腺より分泌される皮脂は、皮膚表面を覆うことで皮膚バリアー機能として重要な役割を担っており、バランスの良い皮脂産生・分泌調節が健やかな肌を保ちます。本講演では、ヒトおよびハムスター脂腺細胞あるいは実験動物を用いて見出した皮脂の産生・分泌機構調節について基礎研究内容を紹介いたします。

ニキビの発症メカニズムと最新の治療、スキンケア

[林 伸和先生]

ざ瘡の発症メカニズムから考えると、主たる治療のターゲットは毛漏斗の閉塞（面皰）とざ瘡桿菌（炎症性皮疹）である。質の高いエビデンスを有する治療として、アダパレン、過酸化ベンゾイル、外用・内服抗菌薬を概説する。近年欧米では薬剤耐性菌が社会問題となっており、日本においても急性炎症期と維持期を明確に分けて治療することの重要性を強調したい。さらに食事やストレスなどの日常生活についても考察する。

赤ら顔と自然免疫

[山崎 研志先生]

赤ら顔は幾つかの状態を引き起こされるが、その中でも酒さは赤ら顔を主たる特徴とする疾患である。酒さの一義的原因は不明であるが、気温、日光照射、乾燥などの外界の変化が酒さの増悪因子の主たるものであり、酒さの患者では敏感肌を感じている場合も多い。自然免疫機構は外界や微生物の変化を感知するシステムであるが、酒さにおいて自然免疫機構の過剰な反応が示されている。酒さにおける自然免疫機構を解説しつつ、赤ら顔について考察する。

ここまでわかった！マイクロバイームとニキビ

[富田 秀太先生]

実に87%の皮膚常在細菌がニキビ菌(プロピオニバクテリウム アクネス)です。しかもこの結果は、健常者のあなたの皮膚の事なのです!!! 先端テクノロジーを用いた最新の研究成果から、皮膚の常在細菌叢(スキンマイクロバイーム)について、様々な事が明らかになりつつあります。注目を集めるスキンマイクロバイームの最新情報とニキビとの関係をご紹介します。

ニキビと心身医学

[檜垣 祐子先生]

ニキビが好発する思春期には、約半数がニキビに悩んでおり、恥ずかしい、自信が持てない、ニキビで嫌な思いをした、という中高生も少なくありません。成人女性にとってもこの悩みは深刻で、軽症のニキビであってもQOLには大きな影響を及ぼします。女性外来に受診するニキビの症例の約10%は心身症としての特徴を示し、仕事の負荷や人間関係などのストレスが悪化因子となっています。このようなニキビのもつ心理社会的側面にも配慮した対応が大切だと考えます。

参加申込方法

日本化粧品学会 第40回教育セミナー

参加申込事前予約締切：2015年9月10日（木）

学会ホームページ(<http://www.jcss.jp/>)にて

7月6日（月）よりWeb受付開始予定

- * 9月11日（金）以降は当日受付でお申込みください。
- * 予約申込で入金が確認された方には参加証及び要旨集を10月上旬に送付する予定です。
- * 一旦払い込まれた予約参加費は払い戻しできませんのでご注意ください。

連絡先：

日本化粧品学会 教育セミナー事務局
〒162-0801

東京都新宿区山吹町358-5
アカデミーセンター

TEL. 03-5389-6496

FAX. 03-5227-8632

E-mail. jcs-semi@bunken.co.jp

■ ヤクルトホールへのアクセスマップ



- JR 新橋駅「銀座口」より徒歩 3分
- 都営浅草線 新橋駅「汐留 1 番出口」より徒歩 1分
- 新交通ゆりかもめ 新橋駅 徒歩 3分
- 東京メトロ銀座線 新橋駅「2 番出口」より徒歩 2分
- 都営大江戸線 汐留駅 徒歩 5分